

市の施設を直接市民の皆さんに見ていただこうと、去る7月1日に行なった「施設めぐり」は、はじめての試みではありましたが好評のうちに終りました。

施設めぐりの参加者を募ったところ応募者数は、男55人、女40人、あわせて95人ありましたが、この日参加した市民は、男41名、女39名、あわせて80名でした。

参加者は、2台の貸切バスで、

消防署→市民体育館→青少年ホーム→柳町児童公園→星型アパート→南中学校→有浦保育園→し尿処理場→日鉦の順に9カ所をまわり、それぞれの施設ごとに下車しながら係員の説明を熱心に聞きっていました。

とくに関心がもたれた施設としてはし尿処現場、南中学校校舎、日鉦選鉱場などがあげられますが、大館市に住み始めて間もない、日鉦旭ヶ丘から参加した方から「どこもわからない私たちは、自分では見られない所を見せてくださいまして、ありがとうございます

市政への関心を 高めた



初の「施設めぐり」

す」と感謝され、参加者の方々は施設めぐりを通じてそれぞれ市政に対して理解を深めたようです。

市では、今後の参考にしたいと考え

アンケートを求めましたが、参加者80人のうちアンケートを提出された方は72人だけでしたが、その結果は次のようにまとめられました。

【1】あなたは市政について関心をもっていますか、という問に対して

①もっていると答えたのは

男34人 女32人

②あまりもっていないと答えた方は

男3人 女3人

③全然もっていないと答えたのは1人もありませんでした。

【2】このような計画(施設めぐり)はいいと思いますか、という問に対して

①よいと答えた方がアンケートを提出して下さった全員の意見でした

【3】あなたは今までこのような施設を見たことがありますか、という問に対して

①ほとんど見ている、と答えたのが男7人 女3人

②少しは見たことがあると答えたのが男17人 女18人

③全然見たことがないと答えたのが男13人 女14人で、参加者の77%の方々が始めて見る施設が多かったようです。

【4】皆さんの税金がこのような施設に使われていますが、今日の見学で税金の使途についてわかりましたか、という問に対して

①よくわかった、と答えたのが

男21人 女23人

②まだ、はっきりわからないと答えたのが

男16人 女11人

③全然わからないと答えたのが女1人ありました。

【5】各施設での説明はよくわかりましたか、という問に対して

①よくわかる、と答えたのが

男21人 女19人

②少しはわかった、と答えたのが

男16人 女14人

③むずかしくてわからない、と答えたのが女1人

そして、回答のなかった人が1人おりました。

【6】今日見た施設のほかに、もっと見たいところがありますか、という問に対して

①ない、と答えたのが

男7人 女5人

②ある、と答えたのが

男30人 女20人

アンケートの結果

③あるとすれば、その施設を書いてください、とお願いしたところ

●水源地に22人

●老人センター(こんど新しくできるもの)に7人

●市立病院は2人

●雪沢温泉に2人

●母子寮に3人

●労災病院に2人

●その他、電話局、火葬場、岩神貯水池、アンフォ工場、変電所、日鉦の抗内、農村の保育所にそれぞれ1人ずつの希望者がありました

【7】施設めぐりはこれからも引きつづき実施したらいいと思いますか、という問に対して

①まい月やるべきだと答えたのが

男はなく、女1人

②年に1回でよいと答えたのが

男なし 女15人

③年に何回やったらいいか、という

問に対しては

2回が12人 3回が6人

4回が3人 5回が1人

6回が1人 2~3回が4人

4~5回が1人ありました。

④あとはいらない、と答えたのが1人もありませんでした。

【8】施設めぐりについて、ご意見やご要望がありましたら簡単に書いてください、とお願いしたところ

●とてもよい企画だ、初回が最終回にならないようお願いしたい、そして、なるべく多くの市民に見てもらい、市政に対する関心をもってもらいたい。心から感謝する。

●どんなものかと期待しながら今日の日を迎えました。大変よいことだと思いました、そして、是非主人にも見せたり、聞かせたいと思いました (主婦)

●朝早くからおにぎりをもって、ゆつくりやるべきだ「市長ガンバレ、フレ・フレ」 (老人)

●日鉦はビックリした、大館のプラスになることも大きいだろう。

●老人センターに入りたいが、どんな方法が必要か。

●市長または助役が努めて参加されて責任のある立場で、もっと具体的な説明を希望する。

●説明が聞えない、マイクの使用をもつと研究して欲しい。

このほか、ただ「ありがとう」と書いた人もありました。とにかく、いろんな意見がだされましたが、市では、これらのアンケートや意見などを参考に、これからも、市民との結びつきを深めるためにも、こうした催しを重ねていく計画を持っています。